

タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2383S		
科目名	会計学		
担当教員	丸森 一寛		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 3		
講義室	1501	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基幹		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識と専門技能（50%） I1 理解・分析と読解（20%） I2 量的分析（20%） I3 情報分析（10%）		
教員の実務経験	1983年から2011年まで、公認会計士として上場会社の法定監査及び上場準備のための監査業務に従事しました。また、1992年以降現在まで、税理士として主に中小企業の税務代理を務めております。さらに、MBAとしての知識と経験に基づいたコンサルティング業務にも従事してきました。一方で、一般事業会社の監査役、一般社団法人の理事及び監事、民事再生における監督員弁護士補佐人、特許権又は専用実施権の侵害に係る訴訟における計算鑑定人、なども務めてまいりました。上記の実務上の知見と経験を活かした講義を行います（第3回以降第15回まで）。		
成績ターゲット区分	■ 成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進行期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	企業が作成する外部報告目的の財務諸表（一般に「決算書」と呼ばれています。）は、企業活動の“写し絵”です。財務諸表がどのようなメカニズムで作成されるのかを学び、さらにその財務諸表から企業がどのような活動を行っているのかを分析並びに評価する方法を学びます。各回のテーマごとにいくつかの到達目標を設定し、それぞれに対応する教科書の該当箇所と配布資料を明示することにより予習及び復習を進めやすくするとともに、各自の理解度を確認できるようにします。 事前の会計の知識は特に必要としませんが、企業の活動に興味がある方を歓迎します。 授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 企業活動、財務諸表、損益、キャッシュフロー、会計ルール、企業分析		
授業の趣旨	■副題 企業活動と財務諸表の関係を理解する ■授業の目的 財務諸表の作成メカニズムを理解し、財務諸表から企業活動を分析評価できるようになる		

	■授業のポイント 財務諸表の背景にある企業の活動を常に考えながら講義を進めます。また、損益とキャッシュ・フローの違いを常に意識することが大切です。	
総合到達目標	【一般目標（GIO）】 外部報告目的の財務諸表のメカニズムとその分析方法を理解し、企業活動を適切に表現並びに分析できる企業会計の知識・技能・マナーを修得する。 【行動目標（SBOs）】 i.企業会計における認識・測定ルールを説明できる。（知識・想起） （第1～15回） ii.企業活動と財務諸表の関係を説明できる。（知識・解釈） （第1～15回） iii.財務諸表から企業活動を測定並びに評価できる。（技能・コントロール） （第1～15回） iv.企業活動を適切に表現するために一般に公正妥当な会計ルールに配慮できる。（態度・反応） （第1～15回）	
成績評価方法	■ 予習課題提出 13回（20%） （評価の観点）各回の到達目標を意識して予習を行ったかどうか。 （フィードバック）講義中に模範解答を提示します。 ■ 講義中の発言 15回（20%） （評価の観点）各回の到達目標につながる発言かどうか。 （フィードバック）発言の都度指摘します。 ■ 理解度チェックテスト 13回（20%） （評価の観点）各回の到達目標にどの程度達しているか。 （フィードバック）模範解答を提示して問題の趣旨を説明します。 ■ レポート 1回（40%） （評価の観点）到達目標にどの程度達しているか。 （フィードバック）模範解答を提示して問題の趣旨を説明します。	
履修条件		
履修上の注意点		
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 ガイダンスの聴講と個別の質疑により、当科目の到達目標や学習計画、講義の進め方、成績評価方法を想起できるようになる。また、それにより自身のコンピテンスや希望キャリア、学修計画と照らし合わせ、当科目を履修するかどうかの意思決定ができるようになる。 ③予習(120分) シラバスの内容をよく読み、自身の意思決定のために確認する必要がある情報を整理する。 ④復習(120分) 配布資料、講義中に作成したノート、をもとに、受講するかどうかの意思決定を行う。
	2	①授業テーマ 複式簿記と財務諸表の構造 ②授業概要 財務諸表作成の基礎である複式簿記を理解し、企業活動を財務諸表として表現するメカニズムの概要を理解する。（E1 I1 I2 I3） ③予習(120分) 到達目標を確認の上事前配布資料および教科書の該当部分を読み、予習課題の回答を準備する。 予習課題提出 （評価の観点）各回の到達目標を意識して予習を行ったかどうか。 （フィードバック）講義中に模範解答を提示します。 ④復習(120分) 配布資料、講義中に作成したノートを確認し、今回のテーマにおける到達目標が達成されているかどうかを確認する。 理解度チェックテスト提出

	(評価の観点) 各回の到達目標にどの程度達しているか。 (フィードバック) 模範解答を提示して問題の趣旨を説明します。
3	①授業テーマ 販売活動 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、販売活動のプロセスと財務諸表の動き、販売活動の管理ポイント、重要論点、分析と評価方法を理解する。(E1 I1 I2 I3) ③予習(120分) 到達目標を確認の上事前配布資料および教科書の該当部分を読み、予習課題の回答を準備する。 予習課題提出 (評価の観点) 各回の到達目標を意識して予習を行ったかどうか。 (フィードバック) 講義中に模範解答を提示します。 ④復習(120分) 配布資料、講義中に作成したノートを確認し、今回のテーマにおける到達目標が達成されているかどうかを確認する。 理解度チェックテスト提出 (評価の観点) 各回の到達目標にどの程度達しているか。 (フィードバック) 模範解答を提示して問題の趣旨を説明します。
4	①授業テーマ 購買生産活動(その1) ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、購買活動のプロセスと財務諸表の動き、購買生産活動の管理ポイント、重要論点、分析と評価方法を理解する。(E1 I1 I2 I3) ③予習(120分) 到達目標を確認の上事前配布資料および教科書の該当部分を読み、予習課題の回答を準備する。 予習課題提出 (評価の観点) 各回の到達目標を意識して予習を行ったかどうか。 (フィードバック) 講義中に模範解答を提示します。 ④復習(120分) 配布資料、講義中に作成したノートを確認し、今回のテーマにおける到達目標が達成されているかどうかを確認する。 理解度チェックテスト提出 (評価の観点) 各回の到達目標にどの程度達しているか。 (フィードバック) 模範解答を提示して問題の趣旨を説明します。
5	①授業テーマ 購買生産活動(その2)・設備投資活動(その1) ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、購買活動および設備投資活動のプロセスと財務諸表の動き、購買生産活動の管理ポイント、重要論点、分析と評価方法を理解する。(E1 I1 I2 I3) ③予習(120分) 到達目標を確認の上事前配布資料および教科書の該当部分を読み、予習課題の回答を準備する。 予習課題提出 (評価の観点) 各回の到達目標を意識して予習を行ったかどうか。 (フィードバック) 講義中に模範解答を提示します。 ④復習(120分) 配布資料、講義中に作成したノートを確認し、今回のテーマにおける到達目標が達成されているかどうかを確認する。 理解度チェックテスト提出 (評価の観点) 各回の到達目標にどの程度達しているか。 (フィードバック) 模範解答を提示して問題の趣旨を説明します。
6	①授業テーマ 設備投資活動(その2) ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、設備投資活動のプロセスと財務諸表の動き、設備投資活動の管理ポイント、重要論点、分析と評価方法を理解する。(E1 I1 I2 I3)

	③予習(120分) 到達目標を確認の上事前配布資料および教科書の該当部分を読み、予習課題の回答を準備する。 予習課題提出 (評価の観点) 各回の到達目標を意識して予習を行ったかどうか。 (フィードバック) 講義中に模範解答を提示します。 ④復習(120分) 配布資料、講義中に作成したノートを確認し、今回のテーマにおける到達目標が達成されているかどうかを確認する。 理解度チェックテスト提出 (評価の観点) 各回の到達目標にどの程度達しているか。 (フィードバック) 模範解答を提示して問題の趣旨を説明します。
7	①授業テーマ 開発・マーケティング・管理活動（その1） ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、開発・マーケティング・管理活動のプロセスと財務諸表の動き、開発・マーケティング・管理活動の管理ポイント、重要論点、分析と評価方法を理解する。（E1 I1 I2 I3） ③予習(120分) 到達目標を確認の上事前配布資料および教科書の該当部分を読み、予習課題の回答を準備する。 予習課題提出 (評価の観点) 各回の到達目標を意識して予習を行ったかどうか。 (フィードバック) 講義中に模範解答を提示します。 ④復習(120分) 配布資料、講義中に作成したノートを確認し、今回のテーマにおける到達目標が達成されているかどうかを確認する。 理解度チェックテスト提出 (評価の観点) 各回の到達目標にどの程度達しているか。 (フィードバック) 模範解答を提示して問題の趣旨を説明します。
8	①授業テーマ 開発・マーケティング・管理活動（その2） ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、開発・マーケティング・管理活動のプロセスと財務諸表の動き、開発・マーケティング・管理活動の管理ポイント、重要論点、分析と評価方法を理解する。（E1 I1 I2 I3） ③予習(120分) 到達目標を確認の上事前配布資料および教科書の該当部分を読み、予習課題の回答を準備する。 予習課題提出 (評価の観点) 各回の到達目標を意識して予習を行ったかどうか。 (フィードバック) 講義中に模範解答を提示します。 ④復習(120分) 配布資料、講義中に作成したノートを確認し、今回のテーマにおける到達目標が達成されているかどうかを確認する。 理解度チェックテスト提出 (評価の観点) 各回の到達目標にどの程度達しているか。 (フィードバック) 模範解答を提示して問題の趣旨を説明します。
9	①授業テーマ 投資と資金調達活動 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、投資と資金調達活動のプロセスと財務諸表の動き、投資と資金調達活動活動の管理ポイント、重要論点、分析と評価方法を理解する。（E1 I1 I2 I3） ③予習(120分) 到達目標を確認の上事前配布資料および教科書の該当部分を読み、予習課題の回答を準備する。 予習課題提出 (評価の観点) 各回の到達目標を意識して予習を行ったかどうか。

	(フィードバック) 講義中に模範解答を提示します。 ④復習(120分) 配布資料、講義中に作成したノートを確認し、今回のテーマにおける到達目標が達成されているかどうかを確認する。 理解度チェックテスト提出 (評価の観点) 各回の到達目標にどの程度達しているか。 (フィードバック) 模範解答を提示して問題の趣旨を説明します。
10	①授業テーマ 引当金 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、引当金計上及び取り崩しの対象となる企業活動のプロセスと財務諸表の動き、重要論点、分析と評価方法を理解する。(E1 I1 I2 I3) ③予習(120分) 到達目標を確認の上事前配布資料および教科書の該当部分を読み、予習課題の回答を準備する。 予習課題提出 (評価の観点) 各回の到達目標を意識して予習を行ったかどうか。 (フィードバック) 講義中に模範解答を提示します。 ④復習(120分) 配布資料、講義中に作成したノートを確認し、今回のテーマにおける到達目標が達成されているかどうかを確認する。 理解度チェックテスト提出 (評価の観点) 各回の到達目標にどの程度達しているか。 (フィードバック) 模範解答を提示して問題の趣旨を説明します。
11	①授業テーマ 税金と税効果 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、税金と税効果に関する企業活動のプロセスと財務諸表の動き、重要論点、分析と評価方法を理解する。(E1 I1 I2 I3) ③予習(120分) 到達目標を確認の上事前配布資料および教科書の該当部分を読み、予習課題の回答を準備する。 予習課題提出 (評価の観点) 各回の到達目標を意識して予習を行ったかどうか。 (フィードバック) 講義中に模範解答を提示します。 ④復習(120分) 配布資料、講義中に作成したノートを確認し、今回のテーマにおける到達目標が達成されているかどうかを確認する。 理解度チェックテスト提出 (評価の観点) 各回の到達目標にどの程度達しているか。 (フィードバック) 模範解答を提示して問題の趣旨を説明します。

12	①授業テーマ キャッシュ・フロー計算書・外貨建取引 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、キャッシュ・フロー計算書及び外貨建取引に関する企業活動のプロセスと財務諸表の動き、重要論点、分析と評価方法を理解する。(E1 I1 I2 I3) ③予習(120分) 到達目標を確認の上事前配布資料および教科書の該当部分を読み、予習課題の回答を準備する。 予習課題提出 (評価の観点) 各回の到達目標を意識して予習を行ったかどうか。 (フィードバック) 講義中に模範解答を提示します。 ④復習(120分) 配布資料、講義中に作成したノートを確認し、今回のテーマにおける到達目標が達成されているかどうかを確認する。 理解度チェックテスト提出 (評価の観点) 各回の到達目標にどの程度達しているか。 (フィードバック) 模範解答を提示して問題の趣旨を説明します。
13	①授業テーマ 連結とM&A ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、連結とM&Aに関する重要論点を理解する。(E1 I1 I2 I3) ③予習(120分) 到達目標を確認の上事前配布資料および教科書の該当部分を読み、予習課題の回答を準備する。 予習課題提出 (評価の観点) 各回の到達目標を意識して予習を行ったかどうか。 (フィードバック) 講義中に模範解答を提示します。 ④復習(120分) 配布資料、講義中に作成したノートを確認し、今回のテーマにおける到達目標が達成されているかどうかを確認する。 理解度チェックテスト提出 (評価の観点) 各回の到達目標にどの程度達しているか。 (フィードバック) 模範解答を提示して問題の趣旨を説明します。
14	①授業テーマ 経営分析と評価 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、経営分析と評価に関する重要論点を理解する。(E1 I1 I2 I3) ③予習(120分) 到達目標を確認の上事前配布資料および教科書の該当部分を読み、予習課題の回答を準備する。 予習課題提出 (評価の観点) 各回の到達目標を意識して予習を行ったかどうか。 (フィードバック) 講義中に模範解答を提示します。 ④復習(120分) 配布資料、講義中に作成したノートを確認し、今回のテーマにおける到達目標が達成されているかどうかを確認する。 理解度チェックテスト提出 (評価の観点) 各回の到達目標にどの程度達しているか。 (フィードバック) 模範解答を提示して問題の趣旨を説明します。
15	①授業テーマ 授業総括・到達度確認 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、これまで学修した内容を統合し、到達目標を達成し

	ているかどうかを確認する。(E1 I1 I2 I3) ③予習(120分) これまでの学修内容を、教科書、配布資料、ノート、で復習し、レポートを作成する。 (評価の観点) 到達目標にどの程度達しているか。 (フィードバック) 模範解答を提示して問題の趣旨を説明します。 ④復習(120分) 授業で確認できた到達状況を踏まえ、到達できていない事項について再度学修する。
関連科目	経営学(RMGT2382S) 企業取引と法(RMGT2361S) 企業組織と法(RMGT2362S) 企業統治と法(RMGT2363S)
教科書	桜井久勝・須田一幸(2022) 財務会計・入門(第15版) 有斐閣アルマ
参考書・参考URL	
連絡先・オフィスアワー	marumori.kazuhiro@nihon-u.ac.jp
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント10%; パブリックセキュリティ60%; グローバルセキュリティ10%; 情報セキュリティ20% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理80% : 法学20%

